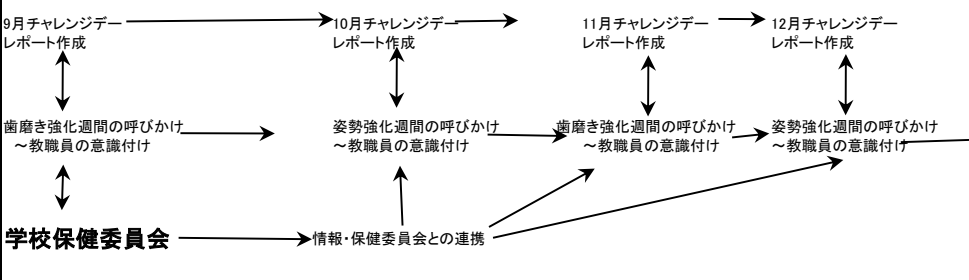
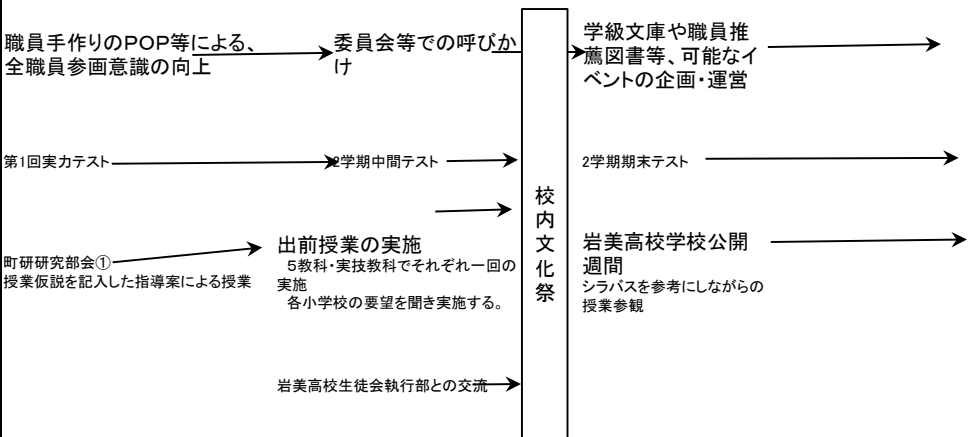
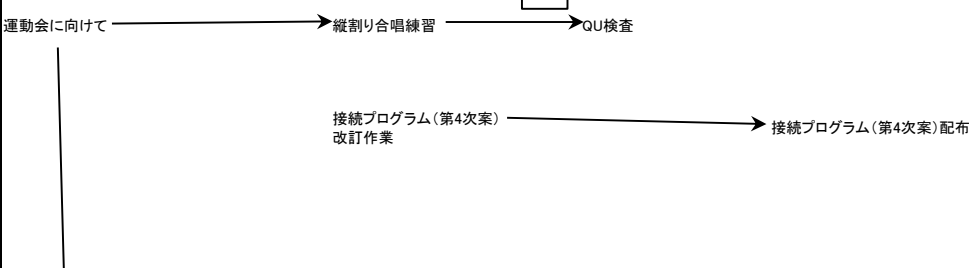
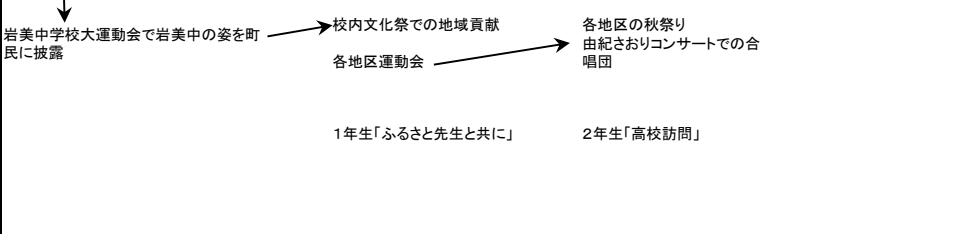


平成27年度 岩美中学校 スクラム教育 2学期マネジメント(案)

スクラム教育の目標			小1プロブレムや中1ギャップなど異校種間で子どもの「育ちや学び」がとぎれないよう、縦(校種間)や横(家庭・地域)の連携を大切にし、めざす子ども像の実現に向けた教育を推進する。									
スクラム教育のテーマ			めざす子ども像「自立する子」「人とのつながりを大切にする子」「岩美町を好きになる子」の達成									
スクラム教育 重点努力目標			(1)発達段階を考慮に入れた教育活動を創造する。 (2)校種間を越えてた重複的連続性と校種間連携による学習(遊び)を創造する。 (3)スクラム教育の取組について、保護者や地域に向けて情報発信を行い、協働する。									
保育士・教職員スローガン			一人ひとりが、スクラム教育に「参画」、「協働」し、よりよい教育環境を共に築きあげよう。									
学校教育目標			校訓「みずから学び、みずから鍛え、みんなと生きる」を体現する生徒の育成									
1学期の成果と課題	めざす子ども像	目指す児童・生徒の姿	主な活動	8,9月	10月	11月	12月	到達目標	評価基準	成果と課題・ 提言	3学期の重点 目標	来年度への 提言
チャレンジデー、メディア利用とも目標値はクリア (メディア67%) 今まではノーメディアという非常に狭い枠での活動であったため、チャレンジデーとして各家庭の創意工夫に任せたとたん、何をしたいのか混乱する家庭もある。 しかし、学校が家庭での過ごし方まで規定する必要はないと思うので、前向きに家庭でのより良い生活習慣を模索する取組として、今後もチャレンジデーを位置付けていく。	生活習慣の確立 自立する子 学び続ける子	「確かな学力」の基盤となる望ましい基本的生活習慣を身につけている。	チャレンジデーの実施(毎月第2・4水曜日)→第2週についてレポート実施 生徒の現状を情報発信し、基本的生活習慣を身につけるように啓発する。					メディアの付き合い方を考え、規則正しい生活を送ることができる。 望ましい生活習慣を身につけ、精神的自立の基礎と学習に迎える身体を作る。	チャレンジ実施率80%以上 平日のテレビ・ビデオ・ゲームを2時間以内の生徒60%以上			
読書冊数3年の平均は7冊。3～5冊が一般。 読解力はテスト等の問題の読み取り等にも効果的に働くと考えられ、継続してこの取り組みを進めていく必要がある。 受験数は3割未満。2学期以降呼びかける。 自学ノーとの提出は8割以上はクリア。 自ら学ぶためのノートなのに、ノルマとしてやっている生徒も多い。学び続けることの価値、学ぶことでしか人は成長しないことを各教科の時間で指導する必要がある。		目標を持って学び(遊び)、校種間ギャップを克服する。	朝読書の質的向上 自主学習ノートをもとした家庭学習の実施 18年間を見通したカリキュラムの実施					自分から意欲的に家庭学習に取り組むことができる。 系統性が考慮された授業展開によって校種間ギャップが軽減する。	朝読書、生徒の平均月3冊 自主学習ノート提出率80%以上 発達段階と小中高の系統性を考えた研究授業を行った教師80%			
全く進んでいないので、2学期以降にシラバス、出前授業については調整。 ステップアップ事業で、小学校側がT1になったとたん、来校希望がなくなったのが現状。人に見られてまで授業を良くしていこうという意欲のなさの表れかもしれない。 Q-U検査 満足群62%、不満足群18% 学年ごとで差があるので、それぞれに合わせた指導の必要がある。		人とのつながるが子を大切に	自尊感情を高めるとともに他者理解を深め、コミュニケーション力を身につける。	校種間連携により、児童・生徒の心理的安定の軽減を行う。					自尊感情を高め、コミュニケーション能力を	「学校生活満足群」60% 「学校生活不満足群」15% 縦割り活動を通して感謝の気持ちを持てた生徒80%		
地域ボランティア80% 公民館単位の活動やキッズトライアスロンのボランティアなど、意欲をもって取り組む生徒も多くいる。	岩美町を好きになる子	地域の「ひと・もの・こと」に親しみ、岩美町を好きになる。	岩美町民の一員として地域貢献をする。					生徒が地域の行事やボランティア活動へ積極的に参加できる。	地域の行事や活動に積極的に参加している生徒70%以上			